

酒類ガイドライン遵守推進本部だより



平成 21 年 12 月 16 日

全国卸売酒販組合中央会  
酒類ガイドライン遵守推進本部

## 「共同配送こうち」

委員 岡林 啓 仁

さあ、12月である。が、我が高知県は不況の真っ只中の状態が、ずっと続いているので、今さら売上増加などという事はあろう筈がない。

幸いなことに、組合員の皆さんが、市場安定について一致団結、協力体制で推移しているので、何とかトラブルなしで営業出来ている。

来年は、NHK大河ドラマ「龍馬伝」が始まるので、観光客の増加が見込め高知県挙げてPRの真っ最中である。どうぞ皆様も来年は、高知県に観光に来てください。

私の会社は、本年春より「共同配送こうち」に加盟し、物流の一部を委託し、営業活動を開始しました。共同配送については、全国各地で行なわれ、殆どどの地域でもまくいかなかったように聞いています。

しかし高知では順調に推移し、現在加盟16社、取扱商品も漬物・味噌・佃煮・製麺・魚肉練り製品・調味料・業務食品全般・冷凍食品・豆腐・精肉・青果・パン・鮮魚・乳製品全般・削り節・雑貨・全酒類・・・となっています。

現在のところ、業務用のお得意様の物流のみを委託していますが、来春からは、一般酒販店様の分もと考えています。最終的には物流全てを委託するべく取り組んでいますが、実は共同配送の一番大きなメリットは、得意先の新規開拓です。既存店の帳合変更は、市場安定問題に抵触し、トラブルの元となりますので、理事長の立場上、出来るだけしないように注意していますが、新規オープンの情報や、酒販売店との現金取引など、自社営業だけでは到底なし得ないものがあります。

まだ途上で、どうなるかわかりませんが、何かを根本的に変えないと駄目だ！と、強い思いがあったので、思い切って決断しました。本当のところ、共同配送ではなく、鮮魚や業務用食品、精肉などを扱う実力のある会社と、お互いの得意先に共同で営業が出来れば、リスクなしで、同じことが出来たと思います。

地場卸として生き残るために、田舎の小さな会社が世の中に必要とされる会社に生まれ変わらなければなりません。まだまだ問題山積ですが、明るく、楽しく、元気良く、やって行きたいと思っています。

来年はいい年になりますように。

## ○ 平成 21 年 11 月ビール及び発泡酒等の出荷状況

(単位:kℓ・%)

| 期間<br>区分 | 11 月    |         |       | 1 ~ 11 月  |           |       |
|----------|---------|---------|-------|-----------|-----------|-------|
|          | 当月数量    | 前年数量    | 前年比   | 本年数量      | 前年数量      | 前年比   |
| ビール      | 229,486 | 246,314 | 93.2  | 2,646,194 | 2,850,452 | 92.8  |
| 発泡酒      | 82,229  | 95,865  | 85.8  | 1,082,422 | 1,290,372 | 83.9  |
| 小計       | 311,715 | 342,179 | 91.1  | 3,728,616 | 4,140,824 | 90.0  |
| 新ジャンル    | 135,220 | 115,585 | 117.0 | 1,570,119 | 1,296,318 | 121.1 |
| 計        | 446,935 | 457,764 | 97.6  | 5,298,735 | 5,437,142 | 97.5  |